

第75回日本皮膚科学会 中部支部学術大会を振り返って

(2024年10月12・13日)

※名古屋マリオットアソシアホテルとWeb配信のハイブリッド開催

西田 絵美

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター皮膚科部長

はじめに

2024年10月12・13日に、暑さが残る秋晴れの中、第75回日本皮膚科学会中部支部学術大会を名古屋マリオットアソシアホテルにて開催させていただきました。名古屋駅直結のホテルでの学会開催を実現することは、いままでにないチャレンジではありましたが、1,667名という多くの方々に学会場へ足を運んでいただき、成功裏に終えることができました。

開催にあたり

本大会は「皮膚科を学ぶ・楽しむ・つながる」をテーマとしており、まずはより多くの方が参加しやすく、行ってみたい場所での開催を、そして全国ならびに海外からさまざまな分野の先生方をお招きし、皮膚科をたくさん学び、つながり、楽しんでい

ただける企画を考え、準備を進めて参りました。

新たな試み

今回は以下のような新たな試みを企画しました。

1. Keynote lecture

一般演題の前に専門家である先生(一部は海外の先生)からKeynote lectureを行ってもらうことで、よりそのセッションの内容の理解が深まることを期待して実施いたしました。

2. 治りにくい皮膚疾患・どうする？

日常で臨床を行っている中、治りにくい皮膚疾患へのアプローチ・治療方法に困ることがや、使ったことのない薬剤の使用方法に迷うことがあります。いままでの学会内では治りにくい疾患について、一部を取り扱うことがあっても、網羅的に短い時間で話を聞けることはなかったかと思います。学会中、常に会場は満席で大盛況となりました(十分な席を



図1 教室員とともに

用意できずご迷惑をおかけしました)。また構想から2年、演者の先生方の講演内容をまとめた『治りにくい皮膚疾患・どうする?』(メディカルレビュー社)を学会開催に合わせ、お披露目することができ、現地参加の先生方に先着で配布することができました(後日書店でも販売いただくことになりましたので、ご興味がありましたらぜひ手にとってみてください)。

3. 共通講習の充実

専門医実績となる4つの共通講習(医療安全、医療制度と法律、地域連携、医療福祉制度)を用意させていただきました。

4. スイーツ・ドリンクコーナー

普段なかなか会場に常置できない、名古屋名物のお菓子(羽二重餅、豆大福、栗きんとん)を時間限定でお出しさせていただきました(品切れ御礼!)

見どころ満載の講演・セミナー

特別講演では、Robert A Schwartz先生(New Jersey Medical School)にはKaposi肉腫の最新の話題、山本明美先生(旭川医科大学)からは組織での女性の力の活用について、日本皮膚科学会、日本研究皮膚科学会の元理事長である島田眞路先生(山梨大学)からは「日本の科学技術力の凋落一原因と対策」について、「イモトのWiFi」や“にしたんクリニック”で有名なエクスコムグローバル株式会社代表取締役社長、西村誠司さんからは「逆境の乗り越え方 売上98%減からV字回復までの道程」と題し逆境からどう回復したかという刺激になるお話を賜りました。

シンポジウムでは、アジアの白斑・CTCL・乾癬のトップランナーである、Leihong Xiang/Yang Wang/Hazel H. Oon先生(Huashan Hospital Fudan University)のご講演、「トップサイエンティストに会いたい」では研究分野でご活躍の、普段なかなかお伺いできない先生方[中西真先生(東京大学医科学研究所/『老化は治療できる!』著者):老化の克服、竹田潔先生(大阪大学大阪大免疫学フロンティア研究センター):腸内細菌、西川博嘉先生(国立がん研究センター研究所):がん免疫療法]のご講演、



図2 左から事務局長、会頭、実行委員長

「皮膚科の楽しさを手にいれた私達」においては、各地でご活躍の6名の先生方にご講演いただきました。

そして日常診療で実践できるようレーザー治療、フットケアのハンズオンセミナー、また若手や一人赴任でなかなかほかの先生に話を聞けない先生方へ向けて「皮膚外科」、また「1人赴任で戦う技」についてのワークショップを開催しました。

おわりに

学会参加の醍醐味は、自身が発表して意見をもらうこと、現地で得られる臨場感を味わい興味あるセッションでさまざまな先生の話を直接聞けることなどです。参加された先生方の今回得られた学びが今後の診療につながり、中部支部学術大会をはじめとした学会へ参加したくなるきっかけとなればと思います。無事本学会を終えることができたのは、日本皮膚科学会大会運営チームの皆様、ご賛助いただきました多くの企業の皆様、ご参加いただきました先生方、ご講演開催に関わってくださいました先生方によるものであり、心から感謝申し上げます。